

Rock The Life! ezorock vol.25

2016.4

コアスタッフとの座談会



そもそもリーダーって何をやるんだらうって悩んだ

司会 みんなはリーダーとしてどういうことをしたの？

てつ そもそもリーダーって何をやるんだらうって悩んだ。みんなを引っ張るのか、サポートするのか。結果、コーディネーターとボランティアの間に立つたと思った。ボランティアが言えないことややれないことをコーディネーターに伝えたり、その逆をしたり。

ほっしー 私も最初わからなかった。去年のリーダーを見て、まずはとにかく色々な人と知り合わなきゃいけないと思い、他のチームの活動にも参加した。そこでそれぞれのリーダー像を見られたのが良かった。実際にしたことは、ミーティングでezorock全体のことを伝えたり、タスクを分担するだけでなくその後も進捗状況を確認したり。

たいき ほかの役割のメンバーを見守って、アドバイスしたりした。あんまり周りを引っ張っていくのが得意じゃないけど役割的にはやらなきゃいけなかった。

ピンク 僕はみんなのような「チーム」や「セクション」のリーダーでなく旭岳での数日間の活動のリーダー。とりあえずボランティア同士が話しやすい環境をつくるのが一番かなと思って、積極的に話しかけた。あとは、事前に移動やご飯の調達・メニューについて考えたりとか...

今まで受け身だったけど、自分から動かなきゃって

司会 大変だったことはある？

てつ 昔だったら他のメンバーがやっていることに割と無関係でいたけど、今は「先に帰ります」とは言わない。そばにいて、出来た内容をチェックしたり、やり方を教えたり。あと、メンバーと話す時に、このチームに関わってよかったって思ってもらうために、何を言うべきか、言うべきでないか考えるように

なった。言った結果の影響まで責任を持たなきゃいけないと思って。

ほっしー 今まで、責任を持つことから割と逃げたから、逃げられないことをしているなどは感じていた。

たいき 今までは受け身でどうにかなってきたけど、自発的に動かなきゃって思うようになった。メンバーが自分で動ける環境をつくっていくのが大変だった。

ピンク 現場が遠いので、バスに乗り遅れるとか不測の事態があった時に、その場で助けてくれる人がいないのが大変だった。あと、リーダーがあまりにもやりすぎると皆の役割がなくなるけど、なにもやらなかったら「リーダーなのに」ってなる。そのバランスが難しかった。

自分が言葉をください話したことが伝わったんだったって思った

司会 リーダーやってよかった、と思ったことはある？

ほっしー 私から役割をお願いしたことがきっかけで、そのままコアスタッフに加わってくれたメンバーがいる。そういう人が一人いるっていうのはすごく嬉しいし、同時に責任を感じる。

たいき 自分自身にいい経験になった。例えば就活の自己PRでも、こういうことがあって、こういう壁にぶつかって、こう成長しましたって言う。

ピンク 積極性が身についた。最初自分で「やります」って言ったわけじゃないんだけど、やってみたら別の価値観が生まれてきて、色々なことチャレンジしてみようかなって思うようになった。

てつ 参加した子から大晦日に連絡が来て、「今年一年NINOMIYAに関わってすごく楽しかった。てつさんの話を聞いて本当によかった。普段からこの本になか、とか考えるようになった」って、それがすごく嬉しくて。たった5、6回の活動でも、自分が言葉をください話したことが伝わったんだったって思った。

去年は色々な細かい失敗をしてきたからリベンジしたい

司会 これから挑戦していきたいことはある？

ほっしー 4月から自然体験活動の仕事。知らない地域に行くので「自分から入っていき、いいところを見つけて、自分に活かす」という経験が役立つと思う。

たいき 去年は色々な細かい失敗をしてきた。今後はリベンジ。要領がわかってきたところで、よりチャレンジしたい。

ピンク 他のチームの活動にいろいろ参加してみたい。そこでリーダーとして学べることもあるんじゃないかな。

てつ 4月からezorockのスタッフに。とにかく現場にまだがつりついて。木に触っていたいし、木に触っている人にも触れていたい。それを体現できるというより、自分に引き寄せていく強さを持っていければ。

リーダーしか感じられない、やってよかったことは必ずある

司会 誰もこれからの人生でなにかのリーダーにはなっていくよね。みんなの経験を踏まえて、まだやったことないぞという人に向けてなにか。

ほっしー やりたいなって思ったことをやってみるのがいいと思う。外に出て、色々な人と知り合って、色々な価値観を知って。元々そうやってリーダーの機会をもらえて、また新しい人と出会えるといういいサイクルをつくられた。

たいき やるやらないは個人の自由だけど、ちょっとでもやりたいと思ったらやってみるといいと思う。やりたい人にezorockはきちんと環境づくりをしてくれる、チャレンジできる場所だと思う。

ピンク 次の代がどんどん経験を積んで行けたらチームは続いていく。やりたいうってなったら、やれって言う。

てつ どんな役割でもその役割なりの何かがあるけど、リーダーしか感じられない、うれしかったこと・やってよかったことは必ずある。(おわり)

代表の小言

おちゃぶりから引き出される「リーダーの素質」

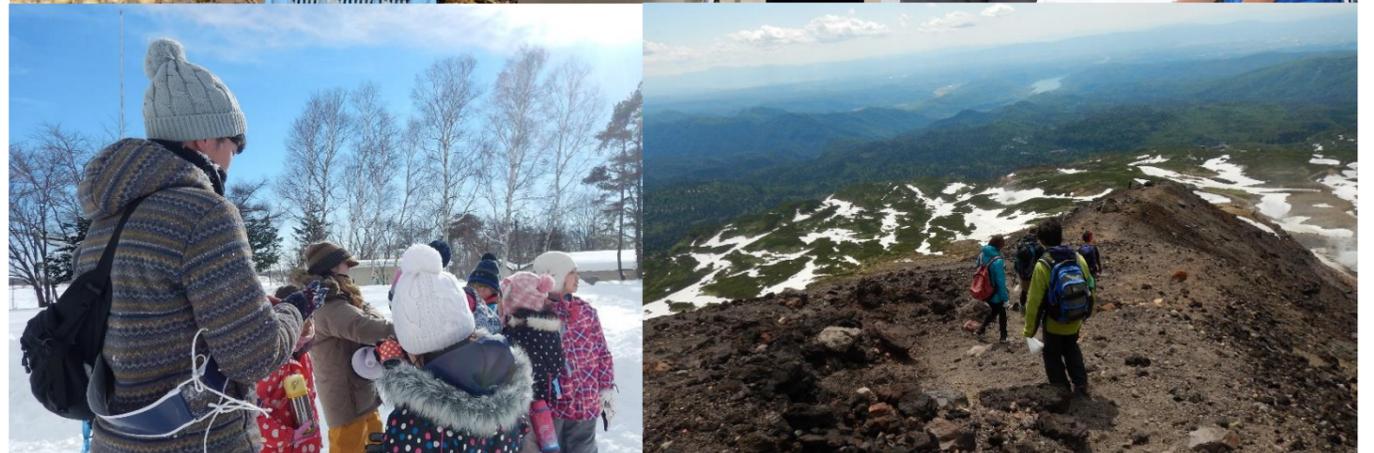
「リーダーの素質」とはなにか？ NPOでもビジネスの世界でも様々な書籍が出ているが、簡単に出来る答えではない。そもそも、チームをいかに引っ張っていくのが「リーダー」と言われていた時代から、ネット・マインダーのように、後ろから導いて「リーダー」も大切だという認識も広まってきている。リーダーのスタイルも一つではないということだ。

その人が、どんな「リーダー」としての素質を持っているのかは、正直なところははじめはわからない。一緒にプロジェクトに取り組む中で、「うわ、こんな魅力的な部分があったんだ」とはじめて気がつく。どうやら、本人にとっても同じようで、最初から認識している人は少ない。

座談会で興味深かったのは、はじめから自分で「リーダーをやるぞー」と思ってた人が、誰もいなかったこと。全員が、誰かに「やってみなさい」と声をかけられたところからスタートしたという。そこから「リーダーとは？」と考えはじめ、チャレンジや葛藤を繰り返す中で、はじめて「こういうことか！」と気がつく。この瞬間に「リーダーの素質」が引き出されるというところに、大きな可能性を感じる。

「やってみなさい？」という程々のおちゃぶりは相手の潜在能力を引き出す「魔法の言葉」なのかもしれない。

草野 竹史



2015年度活動報告レポート

今月の写真 全プロジェクトから2015年度の活動写真を集めました。

Map showing the location of ezorock headquarters near Nishi 9 Jo, Sapporo. Includes a photo of the building and the ezorock logo.

地域数：27市町村
 活動回数：270回/日数:362日
 活動人数：のべ3437人
 会員数：活動会員250名,サポート会員27名(2016年3月31日時点)



活動した地域一覧

Earth Care 環境対策活動



活動概要 野外音楽イベントや地域のお祭りなどでごみの分別ナビゲートなどをはじめとする環境対策を実施。
活動回数 8回(RISING SUN ROCK FESTIVAL2015inEZO, OKETO GREEN FESTIVAL, モエシ沼芸術花火2015など)
活動人数 のべ510名
RSR'15での成果 ごみ回収量: 64,444kg リサイクル率:80.2%
来場者の声 ごみの悪臭対策にもなるということ家で水切りを実施したいと思う。(社会人女性)
ボランティアの声 去年も一昨年もこのボランティアに参加していればよかった。周りへの気遣いについてすぐ考えるようになった。(大学生男性)、ごみの分別で今までなまなまにしていたことをしっかり気を付けるようになった。(大学生女性)

RSRオーガニックファーム 見える循環



活動概要 RSRで出る生ごみを若者の手でリサイクル。生ごみと牛糞を何度も攪拌し、できた堆肥でじゃがいもを作り、それがRSRで来場者の手に渡る。そんな「見える循環」を石狩・はるきちオーガニックファームの一角で実践。
活動回数 24回(RSRオーガニックファーム体験ツアーなど)
活動人数 のべ286名
成果 収穫5t,RSRでのいも配布101個,生ごみの堆肥化3t
「はるきちオーガニックファーム」小林卓也さんの声 過去と比較して最も収穫の面で良かった。味も良いと言ってもらえているので、次年度は、できたじゃがいもの味をPRできるようにすることと、小さいじゃがいもの消費の面にも目を向けられるといいと思う。
ボランティアの声 堆肥が発酵しているのを見るのは初めてで、蒸気が上がっていたりホカホカと温かさを感じたりと、本当に堆肥が生きているんだと実感し、感動しました。(20代女性)

ふくしまキッズ北海道ボランティア 福島県の子もたちと自然体験活動



活動概要 福島第一原発事故の影響を受けている子どもたちの学びと育ちの支援を目的とした自然体験活動プログラム「ふくしまキッズ」北海道プログラムのボランティア担当と、普段より北海道での自然体験活動への協力。
活動回数 33回(ふくしまキッズ夏期林間学校2015,森っこアタスクール)
活動人数 のべ638名
成果 一緒に活動した子どもたちの参加人数 合計約320名
子どもの声 人のつながりが生まれ、息子にとっても大変いい経験になっています。(ふくしまキッズ参加者保護者)
ボランティアの声 子どもたちのたくましさや、子どもとしてのありありとした姿を見ることができ、単に驚かされただけでなく、それまでの自分の子ども感や、自分に対する意識を変えられ、子ども達と共に自分も成長することができた。(大学生男性)

石狩フィールド 石狩での体験活動・環境教育のフィールド開拓



活動概要 NINOMIYAやRSRオーガニックファームの活動場所、RSRの会場などがある自然豊かな場所、石狩。そこで、子どもの自然体験活動など体験活動を推進するチームです。
活動回数 7回(石狩を知るためのフィールドワーク、ひみつの森の探検隊など)
活動人数 のべ61名
成果 子ども参加人数合計67名,アクティビティ開発10例以上
連携先(児童館スタッフ)の声 児童館単体では実施できない事業なので、子供たちもひみつの森での体験を楽しみにしています。
ボランティアの声 子どもたちの発見や気づきは自分にとっての発見や気づきになりました。(大学生男性)雪や森林の役割を子どもたちとともに学ぶことができました。(大学生女性)

プロジェクト「NINOMIYA」 都市の若者と森林をつなぐ



活動概要 石狩周辺に眠る未利用の木で、薪割りを実施し、森林と都市部の若者をつなぐ活動。豊かな森林を次世代に残すため、木や森に関する愛着を持ってもらうこと、北海道の木を使うことが北海道の森づくりに役立つということを伝える
活動回数 102回(森からの材出し,薪割り,行政機関や企業の研修の受け入れ,北海道巨木・名木ツアー実施など)
活動人数 のべ581名
成果 薪約100m³作成, 利用店舗11軒(UNTAPPED HOSTEL WAYA,ダルセーニョ, SAPPOLIDGE, Plantationほか)
協働先の方の声 仕事を完遂する意識が高く、安心できる頼もしい存在になっています。みんなでデザインする森づくりのためのワークショップや勉強会にも参加しています。
ボランティアの声 薪割りで木に興味を持ち、倒れている木を見たら「あー!また薪割り行きたい!」って思うようになった。(大学生男性)

porocle サイクルシェアサービス



活動概要 札幌の街中を走る白い自転車「ポロクル」。全国でも広まりつつある「サイクルシェア」と呼ばれる自転車共有の仕組みの現場運営を行う「クルー」が、自転車を利用したまちの活性化や自転車問題の解決を目指して、ルール・マナー啓発運動を行う。
活動回数 9回(SAPPORO ♡ BICYCLE DAYS,押し歩きキャンペーン開始式, 西5丁目線ブルーレーン開通開始式など)
活動人数 のべ152名
成果 ポロクル運営日数 184日(6か月)
アンケート 回収数合計206枚,オリジナル免許証交付数66枚
関係者の声 クルーのみならずこれまで積み重ねてきたことを社会に一石投じられそうな手応えを感じた年でした。
ボランティアの声 一年を通して、運営リーダーの業務内容以外にも沢山の学びがあった。どうすればクルーにとって苦痛でなく効率よく仕事ができるかなど、今までとは違う視点を持ち考えることで人としても成長できたのではないかなと思う。(20代女性)

大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト 利用者による国立公園の管理



活動概要 日本最大の国立公園である大雪山国立公園内にある、北海道最高峰の旭岳にて「旭岳自然保護監視員」の方々と、自然保護活動を行う。ロープウェイで活動場所まで上がり登山・観光客に自然保護について呼びかけるレクチャーや、壊れた登山道の整備、高山植物保護のためのロープはり等を行う。
活動回数 8回
活動人数 のべ173名
成果 参加者55人のべ173人(過去最多)分の自然保護活動を実施
連携先スタッフ(旭岳自然保護監視員)の声 自然保護の概念は高校までに学ぶこともなく、専門でなければ、はじめから理解するのが難しい。若い人たちは、活動や監視員との関わりを通してそれを学び取っている。
ボランティアの声 自然の中で活動したことで「保護する」という意識が高まった。(大学生男性)登山道をよく見て、だれかが作ってくれたものであると気づくようになった。(大学生男性)

ボラ旅北海道 北海道内のNPOと連携したボランティアプログラム



活動概要 全道各地域にて、1人~複数名で、1日~数日間滞在し、与えられたミッションに取り組むボランティアプログラム。
活動回数 40回
活動人数 のべ515人
成果 14地域にて活動(安平、下川、栗山、苫小牧、厚真、石狩、千歳、恵庭、占冠、大樹、日高、比布など)
連携先スタッフ(いぶり自然学校)の声 一緒に遊びを楽しんでくれるお兄さんお姉さんがいることで、遊びの楽しさや幅が広がって、子どもたちがのびのびしている場面が多くみられるようになった。
ボランティアの声 子どもと接する時間がほしくて参加した。活動に必要なひとつひとつのやり方を学び、ひとつの活動の前段階にこんなに準備が必要なんだと知った。そういうことを知れる機会ってすごく少ない。(北海道教育大女性)

サポートチーム

8つのプロジェクト共通の課題「広報」「研修」については、効率化や効果の向上を目的に、サポートチームが横断的に動いています。また「交流部」はメンバー同士の交流を促すことで、チームに関わらず全体で助け合える関係を作りだしています。

広報部

活動概要 ボランティア不足というプロジェクトの慢性的な課題を解決するため、広報サポートを行う。今年度はホームページやSNSの効率的・戦略的利用を強化。
実施内容 Webサイトの管理・リニューアル,利用者の定期的な調査(アナリティクス,FBインサイトの活用),コラム・対談の開始,ニュースレターの作成発行発送,プロジェクトの広報活動支援,写真展の準備・写真選定,年賀状の作成,団体説明会の実施
成果 ニュースレター発行3回, ホームページアクセス数 105,355PV(前年よりユーザー数55%増加、ページビュー数80%増加), Webコラム 17件更新(うち対談10件), クラオリバック5チーム分,写真展来場者数98名,Facebookページ 2,002いいね・記事投稿数 190回(facebook閲覧数34157(前年比4.6倍))

研修部

活動概要 活動の現場で求められるファシリテーションやチームビルディングなどのスキルや、地域づくりや、環境保全の現場など、次世代の担い手を育成する研修プログラムを実施した。
実施内容 6回(7日間)のべ243名
 ・GREENDAY2016(1/10-11)
 ・市町村ナイト[比布ナイト(12/15), 滝上ナイト(12/25),栗山ナイト(1/8), 中川ナイト(2/11),滝川ナイト(3/28)]
参加者の声(GREENDAY) 「とりあえず」もたまには重要。(20代女性), 勇気を持って流されよう。(30代・女性), 年下の考えを大事にする。(20代男性), 怒られるかっこよさ。(20代・男性)
参加者の声(市町村ナイト) 講義形式だけでなくゆるやかな場での話もおもしろく自然に入ってくると感じた。(比布町ナイト参加者)他の町に比べて教育に力を入れているんだなあという印象を受けた。(栗山ナイト参加者)

交流部

活動概要 交流会などを通して、プロジェクトを横断したつながりを持つ機会を積極的に提供し、各プロジェクトの活動に生かすための取り組み。合わせて、事務所建物内の利便性の向上のため、清掃や整頓も実施。
実施回数 12回(事務所の掃除 CLEAN DAY,交流会,忘年会など)
参加人数 のべ161人

ボランティアの声 普段会う機会が無いけれど、ezorockに関わりのある方と話す事が出来るし、初めて会う他プロジェクトのメンバーと一緒に準備をしたりご飯を食べたりしているうちに自然に仲が深まる。次に会った時に会話が生まれる。横の繋がりを作るきっかけになるのでとても大切な時間です。(社会人女性)

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
20日(日)川柳大会	27日(日)石狩市環境フェスティバル	26日(土)石狩市環境フェスティバル	13日(土)石狩市環境フェスティバル	27日(日)石狩市環境フェスティバル	24日(土)石狩市環境フェスティバル	22日(土)石狩市環境フェスティバル	21日(金)石狩市環境フェスティバル	25日(日)石狩市環境フェスティバル	24日(土)石狩市環境フェスティバル	20日(木)石狩市環境フェスティバル	19日(水)石狩市環境フェスティバル
(E) EarthCare (ふ) ふくしまキッズ北海道ボランティア (オ) RSRオーガニックファーム (旭) 大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト (研) プロジェクト「NINOMIYA」 (R) RECO (ホ) ポロクル (ボ) ボラ旅北海道 (研) 研修部 (広) 広報部 (交) 交流部 (そ) その他											

年間カレンダー

いただいたご寄付・助成金	
■寄付(敬称略) あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社エコプラス 株式会社ニッセンレスコート その他、たくさんの方個人・イベント参加者のみさま	■助成金(敬称略) 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 社会福祉法人 中央共同募金会 札幌市 さぼーとほっと基金 公益財団法人北海道地域活動興隆協会 NPO法人ねおず共育ファンド
報道採録	
■紙媒体 4月上旬—アスキー東京フライヤー(石狩市場紹介) 6/1発行—広報いしかり(NINOMIYA特集) 6/19—建設通信新聞(ポロクル紹介) 7/31—北海道新聞(ポロクル紹介) 8/25発行—とうちゃんのことば(スタッフ紹介) 9/7発売—アルキタ月曜版(Earth Care特集) 9/25発行—環境と正義(ezorock紹介) 10/5発行—DePOL(Aezorock紹介) 10/21—北海道新聞(NINOMIYA紹介) 12月発行—地域づくり12月号別冊 *平成27年度地域づくり団体活動事例集 若者や働き盛り世代が参画する地域づくり (ezorock紹介) 2/1—京都新聞(GREENDAY紹介) 2/4—朝日新聞(写真展紹介)	■WEB 4/8—youtubeRSR公式アカウント *RSR2014ダイジェスト#3 (石狩市場紹介) 4/9—ポロクルブログ(ポロクル紹介) 2/4—朝日新聞WEB版(写真展紹介) ■ラジオ 9/5—FM NORTH WAVE (HTBイオンまつり紹介) ■テレビ 11/14 NHK総合北海道エリア おはよう北海道 土曜プラス「おらみてある記」(NINOMIYA紹介)